

タイ国内に居住するミャンマー避難民 のための職業訓練事業

2018 年度 完了報告書



ミャンマー政府認可法人 メコン河流域圏農業・教育開発センター

1. 基本情報

(1) 事業名	タイ国内に居住するミャンマー避難民のための職業訓練事業
(2) 事業地	タイ王国チェンマイ県
(3) 事業期間	2018年3月26日～2019年3月25日
(4) 団体概要	<ul style="list-style-type: none">○ 団体名：ミャンマー政府認可法人 メコン河流域圏農業・教育開発センター (Greater Mekong Subregion Agriculture and Education Development Center)○ 住所：245 (2nd Floor) Ngu Wer Street Ahlone Township Yangon Myanmar○ 事業責任者：井本勝幸

2. 事業背景とその目的

ミャンマーでは第2次世界大戦終結直後から、ビルマ族を中心とする軍事政権と少数民族武装勢力の内戦が続き、内戦によるタイへの難民流入は1975年に始まり、タイ政府（内務省）は、1984年から難民収容キャンプを設営し始めた。2018年には、3,481人がミャンマー本国に帰還、2,354人が第三国定住、2,352人がタイ国内に場所を求めてキャンプを出、1,935人がキャンプ内で出生した。2018年12月現在、カレン族、カレニー族といった少数民族を中心とする難民86,864人が未だタイ国内の9か所の難民収容キャンプで暮らしている。

またグローバル化進展とともに、新興国ではより高い賃金、より多くの就労機会を求めて自国以外で働く人が増加しており、ミャンマーからの移民労働者は約314万人に上り、その内タイが約189万人と全体の約6割を占めている。しかし、移民労働者にとってタイでの仕事は、建設業・漁業・農業などに限定され、いずれの仕事でも、生活に困窮して働きにきていることの足元を見られ、現場では過酷な労働を強いられているケースも少なくない。（3K：汚い、危険、キツイ）このような現状にスー・チー国家顧問兼外相は、タイ政府に対して、ミャンマーからの移民労働者の労働環境を改善するように何度か求めている。

ミャンマー経済は、2011年の民主化以降、順調な拡大を続けており、現在も高成長を続けているが、依然として、賃金は周辺国と比較して低く、雇用機会も少ない状況にある。ミャンマー政府は雇用創出に重点を置いて農業・漁業改革などを中心に政策を実行しようとしているが、そのスピードは遅く、成果がでるまでには時間を要する状況にある。

難民自身は、帰還への希望を持っている人もいるとはいえ、まだ多くの人々が帰還を希望しない、または決めかねている状況にある。タイ国内に居住するミャンマー避難民が望んでいるのは、「二度と難民にならない」ことであり、帰還に向けては、真の和平が訪れ、身の安全が保障され、そして生計が立てられることである。

ミャンマー避難民の内地帰還を実現するためには、ミャンマー国内側の環境整備が必要であると同時に、タイ国内の避難民に対して、帰還後に就業できるように必要な知識や技能を身につけさせることが重要である。

3. 避難民の概要

a. 2008 年度タイ国内の難民収容キャンプ (タイ北西部に計 9 ヶ所)

キャンプ名	難民数
ナイソーイ・キャンプ	18,302
メースリン・キャンプ	2,957
メーラマールアン・キャンプ	10,271
メーラーオーン・キャンプ	12,074
メーラー・キャンプ	35,680
ウムピウム・キャンプ	19,250
ヌポー・キャンプ	13,373
ドーンヤン・キャンプ	37,175
タムヒン・キャンプ	5,761
合計	154,843 名

出典：UNHCR (2008)

b. ミャンマーからの移民労働者

i. 労働者の約 60%がタイへ移民

移民先	移民労働者数
<u>タイ</u>	<u>189 (60%)</u>
サウジアラビア	60 (19%)
その他	65 (21%)
合計	314 万人

c. 東南アジア各国の一番多い移民先と移民労働者数 (2013 年現在)

- i. タイへの移民労働者が多い背景には、タイが隣国であり経済発展している最も身近な国であることに加え、タイ側の外国人労働者受け入れに関する基本方針も影響していると思われる (1. 国内の安全を損ねない、2. タイの労働者の雇用機会を奪わない、3. 人件費のより安い労働者を雇用すること)

国名	一番多い移民先	移民労働者数 (人、2013 年現在)
フィリピン	米国	1,998,932
ベトナム		1,381,076
タイ		267,919
<u>ミャンマー</u>	<u>タイ</u>	<u>1,892,480</u>
ラオス		926,427
カンボジア		750,109
インドネシア	サウジアラビア	1,500,000
マレーシア	シンガポール	1,044,994
シンガポール	オーストラリア	63,077
ブルネイ	インド	25,86

出典：世界銀行

- d. タイ国内に居住するミャンマー避難民数
 - i. タイ国内に居住するミャンマー避難民は不法滞在者・移民労働者も含めると 200~300 万人といわれている
- e. タイ国内に居住するミャンマー避難民の平均所得（月給）
 - i. 正確な統計数値はないが、彼らの平均所得を把握する一材料として、彼らの大半はタイの最低賃金（日給）である 300 バーツ（≒1,020 円）以下で働いている。仮に日給が 150 バーツとすれば、150 バーツ×25 日間 = 3,750 バーツ（≒12,750 円）となる

4. 事業概要

- a. 上位目標を「タイ国内に居住するミャンマー避難民の本国帰還後の生活の安定」と設定し、それを達成するためにタイ国内のメーワーン職業訓練センターにて生活改善につながる各種加工技術及び販売ノウハウに関する職業訓練を実施
- b. 対象者は主にタイ国チェンマイ県に居住する避難民
 - i. 今年度(2018年度)はチェンマイ県メーアーイ郡、ファーン郡、ウィエンヘーン郡、オムコーイ郡、メーチェム郡、ホート郡、及びターク県、カンチャナブリ県などに居住する避難民を対象
- c. 参加者の集め方
 - i. 少数民族（避難民）と関係が深い団体経由で参加者を募った。主な団体は以下の通り
 1. United Nationalities Federal Council (UNFC)
 2. Karen Agriculture Department (KAD)
 3. Mon Relief Development Committee (MRDC)

事業分類	事業内容	事業選定理由	協力団体
製糸	オーガニックコットンを原料とした糸・布の加工品の技術習得研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帰還後でも原材料（オーガニックコットン、乾燥楮）の栽培・入手が容易 	HQ Co.,Ltd http://www.hqpapermaker.com/
製紙	乾燥楮（こうぞ）を原料としたパルプ・紙の加工品の技術習得研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小資本で始められる ○ 比較的加工技術の習得が容易 ○ オーガニック製品の需要増 	Planeta Co.,Ltd https://planeta-organica.com/
販売ノウハウ	「収支管理」や「基礎的マーケティング知識」の習得研修		

5. 活動実績

a. 年間活動スケジュール

	製糸			製紙			販売ノウハウ（製糸）		販売ノウハウ（製紙）	
	ターク・カンチャナプリ	チェンマイ	スキルアップ	ターク・カンチャナプリ	チェンマイ	スキルアップ	ターク・カンチャナプリ	チェンマイ	ターク・カンチャナプリ	チェンマイ
2018年4月			○			○				
2018年5月	○			○			○			
2018年6月		○			○			○		
2018年7月									○	○
2018年8月	○			○						
2018年9月		○			○					
2018年10月			○			○				
2018年11月	○			○						
2018年12月		○			○					
2019年1月								○		
2019年2月										○
2019年3月										

b. スケジュール詳細及び研修内容

- i. 1回あたりの研修期間は約1週間とし、メーワーン職業訓練センターにて泊まり込みで実施

事業分類	研修内容	実施期間	招聘元	参加者数
共通	指導者スキルアップ	2018年4月19日～2018年4月25日	7日間 職員	6
製糸	初級：種取り・綿打ち	2018年5月7日～2018年5月13日	7日間 ターク・カンチャナプリ県	22
製紙	乾燥楮蒸し・皮むき・皮干し・水洗い・煮沸・灰汁抜き	2018年5月17日～2018年5月23日	7日間 ターク・カンチャナプリ県	24
販売ノウハウ（製糸）	販売ノウハウコスト構造（仕入）と粗利の理解	2018年5月29日～2018年5月31日	3日間 ターク・カンチャナプリ県	11
製糸	初級：種取り・綿打ち	2018年6月2日～2018年6月8日	7日間 チェンマイ県	25
製紙	乾燥楮蒸し・皮むき・皮干し・水洗い・煮沸・灰汁抜き	2018年6月10日～2018年6月16日	7日間 チェンマイ県	21
販売ノウハウ（製糸）	販売ノウハウコスト構造（仕入）と粗利の理解	2018年6月17日～2018年6月19日	3日間 チェンマイ県	15
販売ノウハウ（製紙）	販売ノウハウコスト構造（仕入）と粗利の理解	2018年7月10日～2018年7月12日	3日間 ターク・カンチャナプリ県	13
販売ノウハウ（製紙）	販売ノウハウコスト構造（仕入）と粗利の理解	2018年7月20日～2018年7月22日	3日間 チェンマイ県	9
製糸	中級：糸紡ぎ	2018年8月2日～2018年8月8日	7日間 ターク・カンチャナプリ県	18
製紙	乾燥楮蒸し・皮むき・皮干し・水洗い・煮沸・灰汁抜き	2018年8月11日～2018年8月17日	7日間 ターク・カンチャナプリ県	23
製糸	中級：糸紡ぎ	2018年9月2日～2018年9月8日	7日間 チェンマイ県	21
製紙	乾燥楮蒸し・皮むき・皮干し・水洗い・煮沸・灰汁抜き	2018年9月15日～2018年9月21日	7日間 チェンマイ県	22
共通	指導者スキルアップ	2018年10月15日～2018年10月21日	7日間 職員	6
製糸	上級：染め	2018年11月11日～2018年11月17日	7日間 ターク・カンチャナプリ県	23
製紙	基本紙/デザイン紙/和紙製品	2018年11月21日～2018年11月27日	7日間 チェンマイ県	20
製糸	上級：染め	2018年12月10日～2018年12月16日	7日間 チェンマイ県	18
製紙	基本紙/デザイン紙/和紙製品	2018年12月21日～2018年12月27日	7日間 チェンマイ県	18
販売ノウハウ（製糸）	販売価格設定・販管費、及び損益計算の理解	2019年1月11日～2019年1月13日	3日間 チェンマイ県	15
販売ノウハウ（製紙）	販売価格設定・販管費、及び損益計算の理解	2019年2月22日～2019年2月24日	3日間 チェンマイ県	11

341

6. 裨益者数

a. 直接裨益者数（研修修了生）：341名

b. 研修回数：20回

c. 平均研修参加人数：約17名

d. 間接裨益者数：6,933名

- i. 上記研修修了生341人がそれぞれ5人に学んだ技術や知識を普及させることを想定。またミャンマー少数民族地域の平均世帯同居数は4.7名（2014年国勢調査）であることから、本事業での間接裨益者数を $341 \times 5 \times 4.7 = 8,013$ 人とした

e. 合計裨益者数（直接+間接）：8,354名

事業分類	研修回数	参加人数
共通 (指導者スキルアップ)	2	12
製糸	6	127
製紙	6	128
販売ノウハウ (製糸)	3	41
販売ノウハウ (製紙)	3	33
直接裨益者数	20回	341名
間接裨益者数		8,013名
合計裨益者数		8,354名

7. 事業評価 1 (達成された成果)

- a. 目標：生活改善に繋がる各種加工技術、及び販売ノウハウを習得する
- b. 指標：参加者のうち、**約5割**が市場クオリティーを満たした製品を作成できる状態にする
- c. 確認方法：市場クオリティーを満たした製品かどうかを外部専門家が判定
 - i. 製糸：事業経営者、専門家による判定
 - ii. 製紙：事業経営者、専門家による判定
 - iii. 販売ノウハウ：事業経営者による判定
- d. 判定基準：1~10段階評価とし、7点以上を市場クオリティーを満たした製品と判定 *昨年度(2017年度)は6点以上で判定していた
 - i. 製糸：太さ、強さ(切れにくい)、滑らかさ(毛玉がない)、色合い(染色の均一性)など
 - ii. 製紙：薄さ、強さ(破れにくい)、滑らかさ(玉がない、水分量)、色合い(染色の均一性)など
 - iii. 販売ノウハウ：収支管理を口頭で説明できる
- e. 判定結果

- i. 製糸：参加者の**約6割**が市場クオリティを満たしている(7点以上)

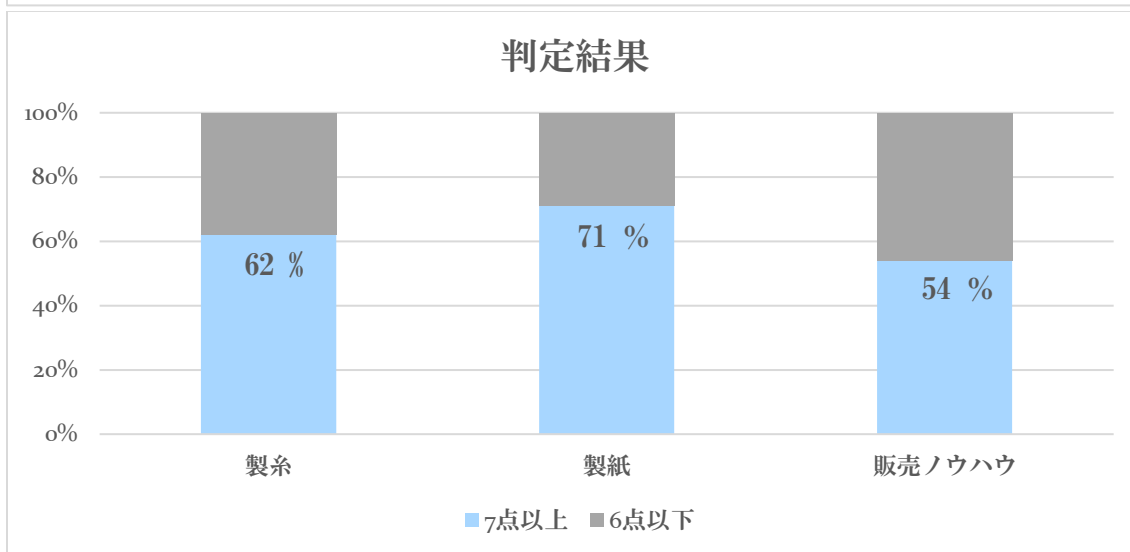
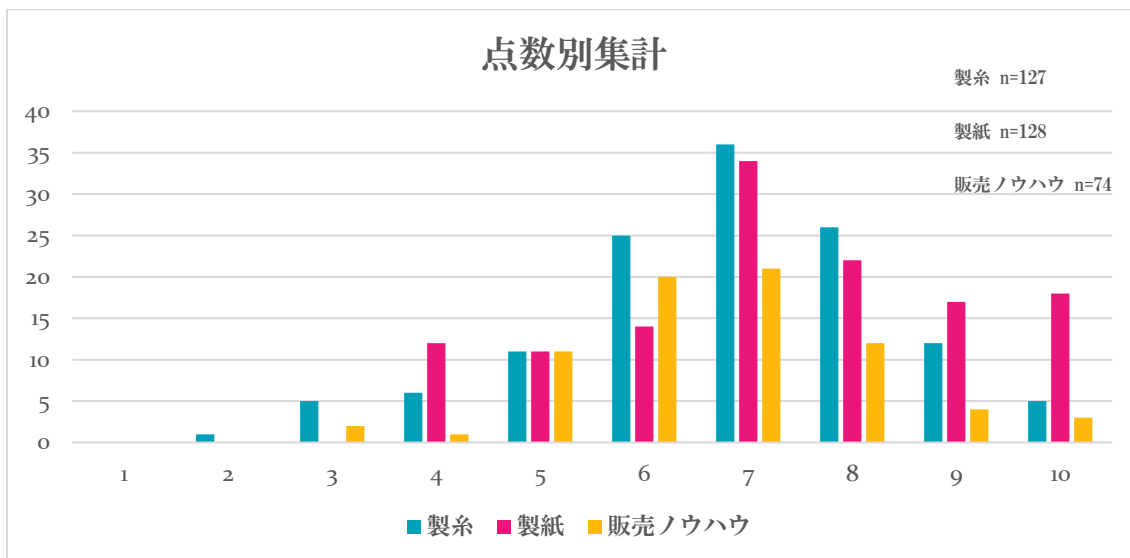
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
n	0	1	5	6	11	25	36	26	12	5	127
%	0%	1%	4%	5%	9%	20%	28%	20%	9%	4%	100%

- ii. 製紙：参加者の**約7割**が市場クオリティを満たしている(7点以上)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
n	00	0	0	12	11	14	34	22	17	18	128
%	0%	0%	0%	9%	9%	11%	27%	17%	13%	14%	100%

- iii. 販売ノウハウ：参加者の**約5割**が収支管理を理解している(7点以上)

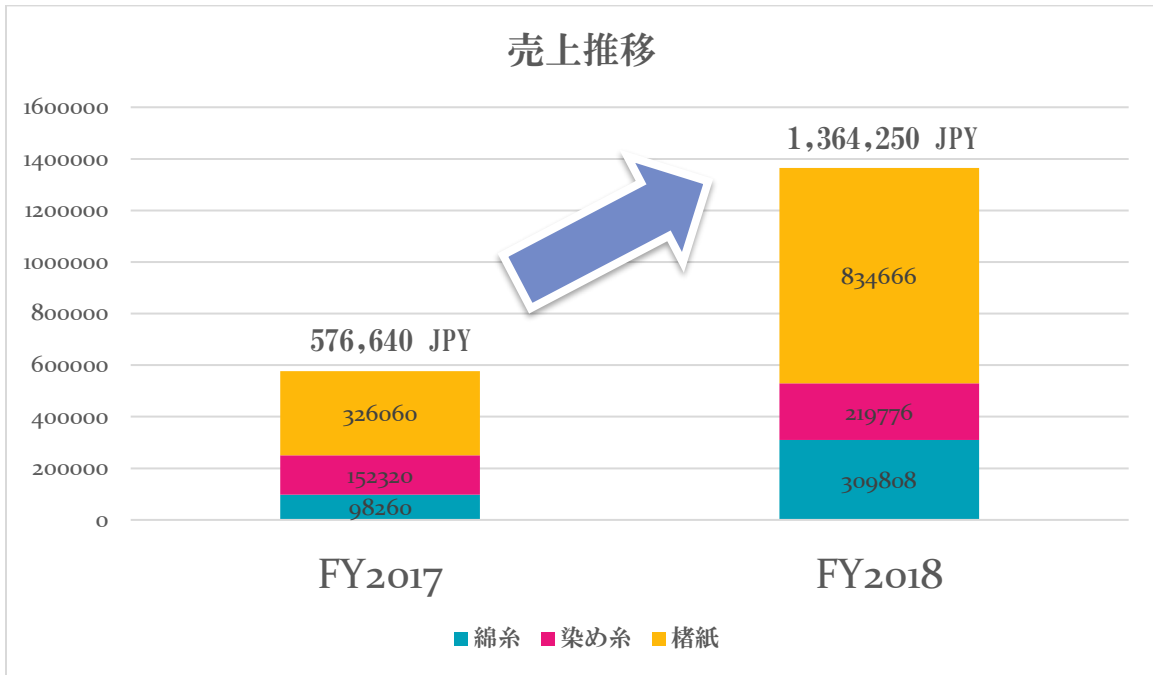
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
n	0	0	2	1	11	20	21	12	4	3	74
%	0%	0%	3%	1%	15%	27%	28%	16%	5%	4%	100%



8. 事業評価 2 (副次的成果)

- a. 研修生が作成した製品の一部を販売
- i. 綿糸 268 キロ、染め糸 101 キロ
 - ii. 楮紙 3,507 枚 (70cm×50cm)

	単価	数量	売上
綿糸	340 / kg (≒1,156 円)	268 kg	91,120 パーツ (≒309,808 円)
染め糸	640 / kg (≒2,176 円)	101 kg	64,640 パーツ (≒219,776 円)
楮紙	70 THB / 枚 (≒238 円)	3,507 枚	245,490 パーツ (≒834,666 円)
合計			401,250 パーツ (≒1,363,250 円)



❖ 売上金は研修会開催費（研修用材料費、食費等）に充当した

9. 事業評価 3（アンケート）

- 趣旨：現時点で、収入の増加額だけで成果を計測するのが難しいため、研修修了生へスコアリング形式のアンケートを実施することで、参加者の立場から有益な事業が実施できていたかを評価した
- 満足度と満足に対する影響因子（重要度）の2軸を評価指標とし、重回帰分析からCSポートフォリオ（顧客満足度）を作成した



c. アンケート内容：

i. 「満足度」：研修についての総合満足度

- 質問：研修に参加して、全体的にどの程度満足しましたか？
- 回答：上記質問に対して、以下から選択して回答
 1. 非常に不満がある
 2. 不満がある
 3. どちらともいえない
 4. 満足している
 5. 非常に満足している

ii. 「重要度」：各項目が総合満足度にどれくらい寄与しているか（相関があるか）

- 質問：
 - 研修内容&レベル（難易度）について、どの程度満足しましたか？
 - 研修の参加人数について、どの程度満足しましたか？
 - 研修期間について、どの程度満足しましたか？
 - 研修開催場所&研修場所の環境について、どの程度満足しましたか？
 - 指導者スキルについて、どの程度満足しましたか？
- 回答：上記質問に対して、それぞれ以下から選択して回答
 1. 非常に不満がある
 2. 不満がある
 3. どちらともいえない
 4. 満足している
 5. 非常に満足している

d. 有効回答数：266

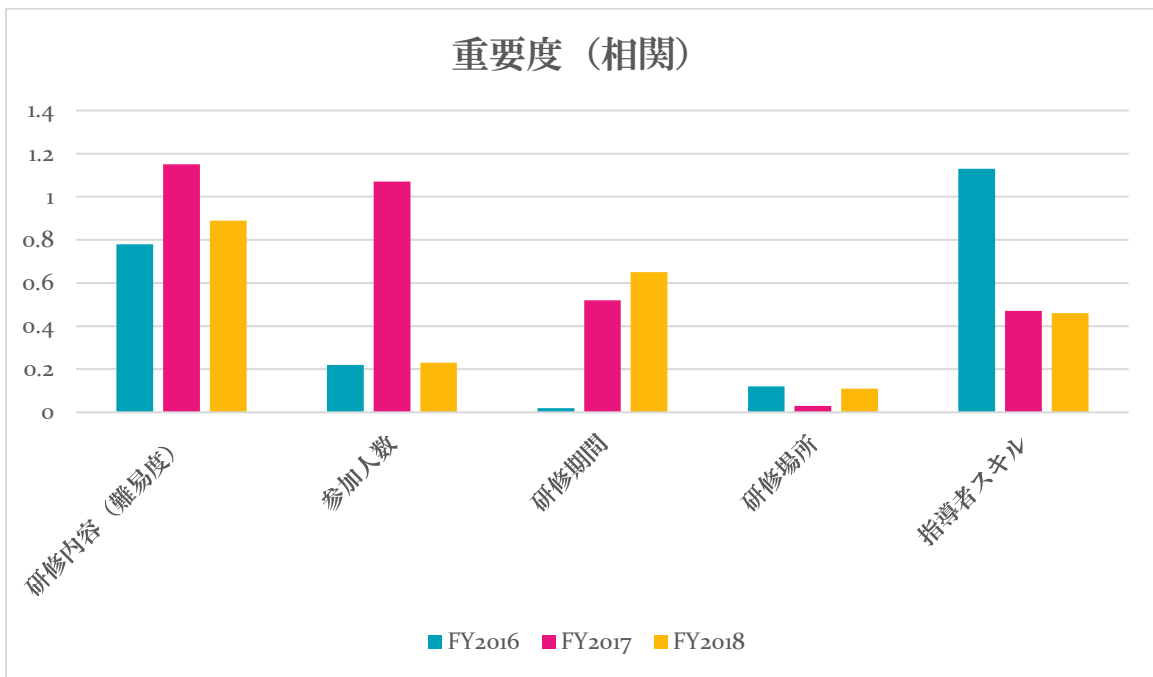
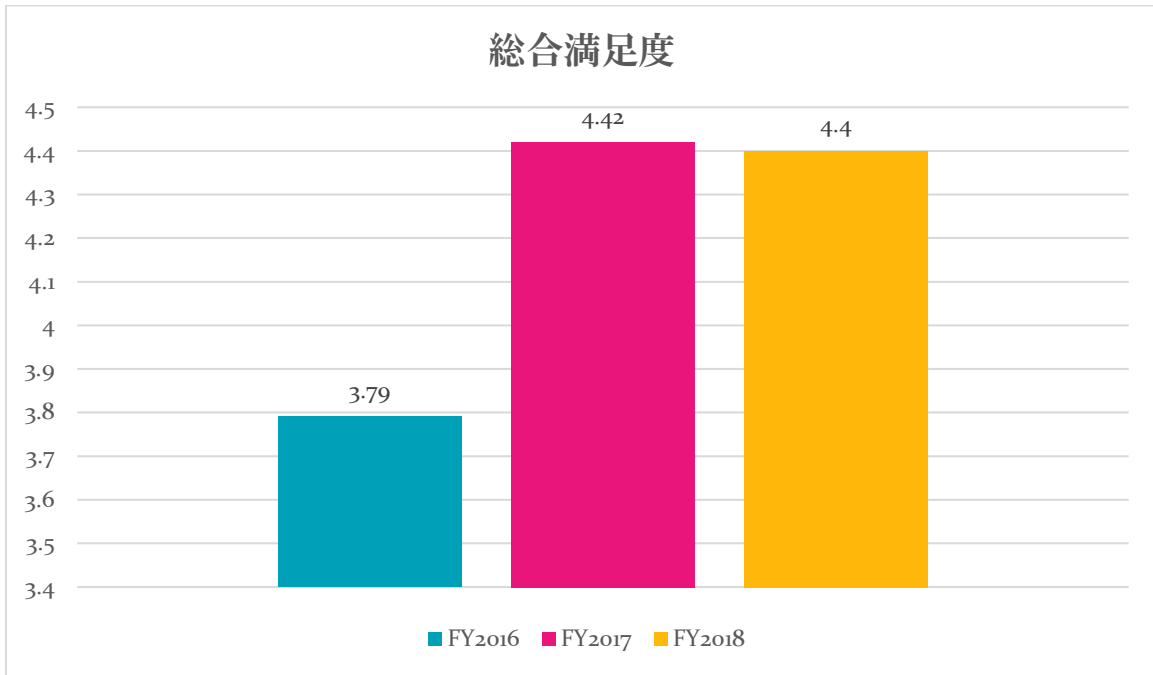
e. アンケート結果

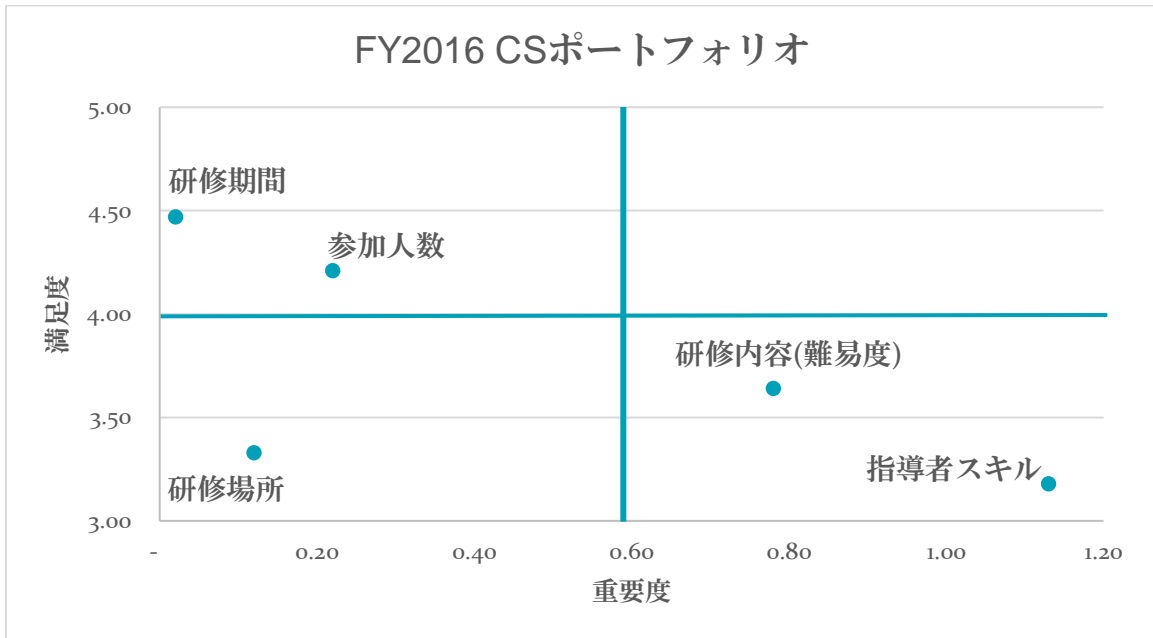
i. 総合満足度：今年度 (FY2018) は 4.40 と昨年度 (FY2017) の 4.42 (5 点満点) とほぼ同じ結果

FY2016 (3.79) >>> FY2017 (4.42) >>> FY2018 (4.40)

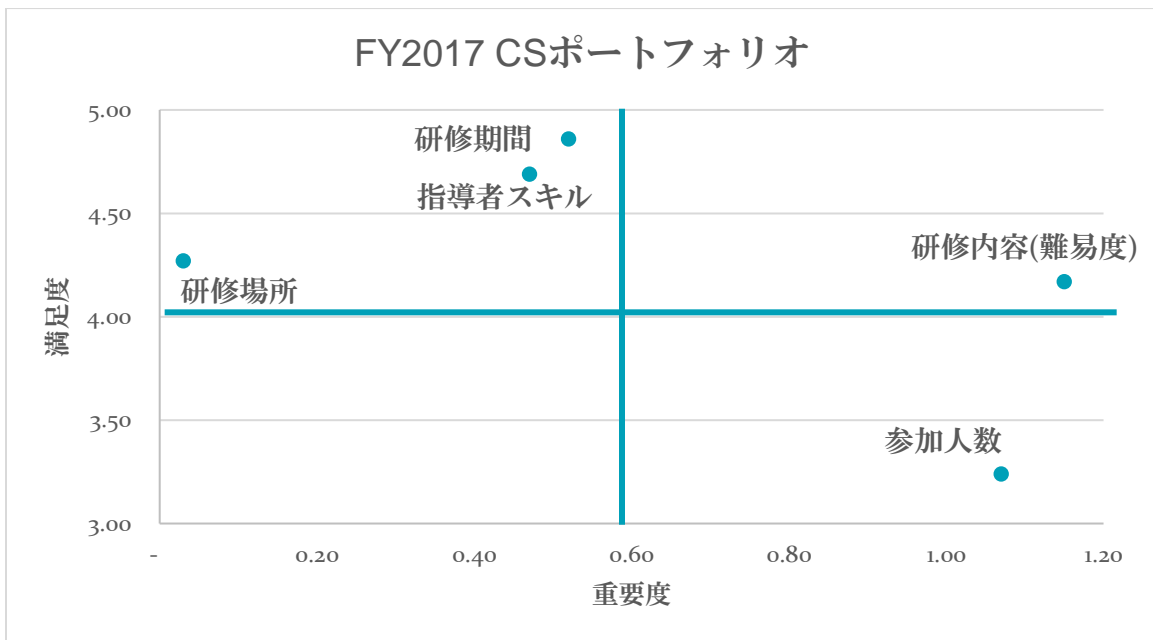
ii. 重要度：今年度 (FY2018) は「研修内容 (難易度)」の 1 項目の相関が強いという結果

		研修内容	参加人数	研修期間	研修場所	指導者	総合満足度
FY2016	重要度	0.78	0.22	0.02	0.12	1.13	3.79
	満足度平均	3.64	4.21	4.47	3.33	3.18	
FY2017	重要度	1.15	1.07	0.52	0.03	0.47	4.42
	満足度平均	4.17	3.24	4.86	4.27	4.69	
FY2018	重要度	0.89	0.23	0.65	0.11	0.46	4.40
	満足度平均	4.17	4.20	4.86	4.29	4.65	

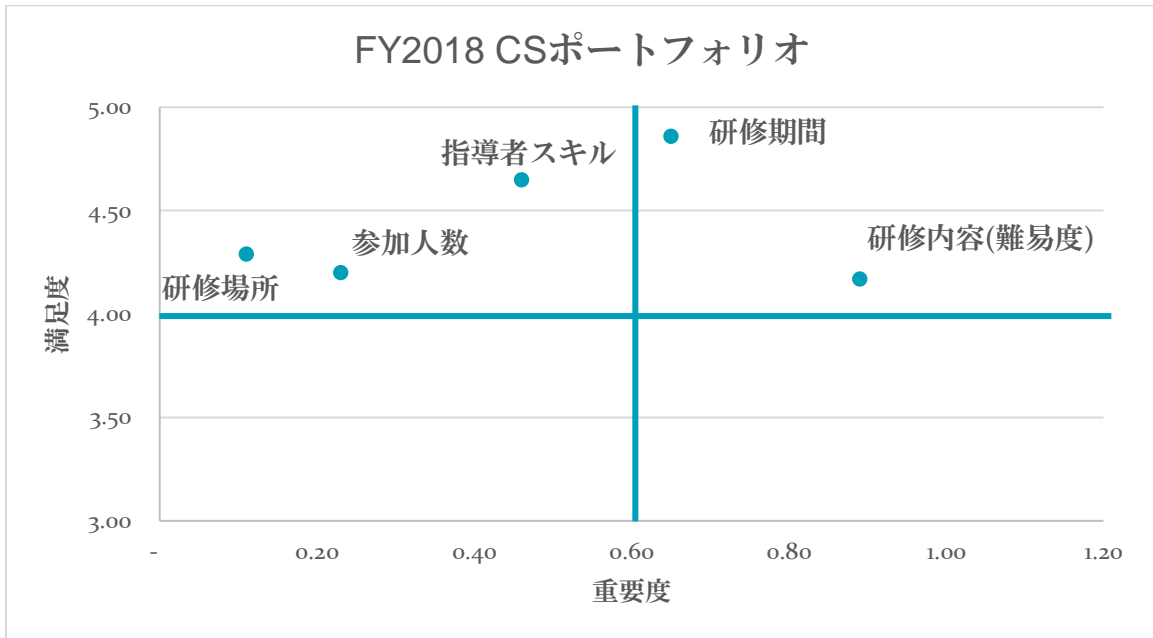




FY2016: 重要改善エリア(右下)にプロットされたのは、「研修内容(難易度)」と「指導者スキル」の2項目。指導者スキルの改善が一番の課題であり、この課題を解決することで研修生が感じる研修の難易度も下げることができると推察された



FY2017: FY2016に重要改善エリア(右下)にプロットされていた「研修内容(難易度)」と「指導者スキル」の2項目はそれぞれ重点維持エリア(右上)と維持エリア(左上)に移動(指導者スキルアップ研修の成果)。FY2017に重要改善エリア(右下)にプロットされたのは、「参加人数」の1項目のみ。平均研修参加人数は約23名であり、人数を若干減らし、一研修生への対応時間を増やすことで、改善できると推察された



FY2018: FY2017 に重要改善エリア (右下) にプロットされていた「参加人数」の1項目は維持エリア (左上) に移動。1回あたりの平均研修参加人数を23名 (FY2017) から17名 (FY2018) へと減少させ、一研修生あたりの対応時間を増やしたことが影響したと思われる。また FY2018 は重要改善エリア (右下) にプロットされた項目はなく、有益な事業が実施できたと推察できる (参加者の立場から)

10.活動写真



乾燥楮



楮蒸し



煮沸・灰汁抜き



解繊



攪拌



紙漉き



紙漉き (デザイン紙)



乾燥



楮紙



種取り前の原綿



種取り作業



種取り後の原綿



糸紡ぎ



糸紡ぎ



綿糸



綿布